

ビジネスデザイン研究科/21世紀社会デザイン研究科プログラム

“Program for the Graduate School of Business Administration and the Graduate School of Social Design Studies”

〈履修資格 Eligibility〉

このプログラムは、次の二つの条件を満たした場合に履修することができます。

- ・ビジネスデザイン研究科または21世紀社会デザイン研究科に所属する特別外国人学生であること。
- ・日本語プレイスメントテストの結果、「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてがJ6、J7、J8のいずれかであること。

This program is available for students who meet both conditions shown below.

- ・Special International Students who belong to the Graduate School of Business Administration or the Graduate School of Social Design Studies.
- ・Special International Students whose levels are any of J6, J7 or J8 for each of all 4 skills: Grammar, Reading, Composition and Listening and Conversation.

〈科目一覧表 Course List〉

学期 Semester	科目コード Course Code	科目名 Course Title	担当者 Instructor	単位 Credits
春学期 Spring	OA894	日本の法制度と規制 Legal System and Regulation in Japan	山中 伸彦 (Yamanaka, Nobuhiko) 池田 伸子 (Ikeda, Nobuko)	2
秋学期 Fall	OA892	日本の産業と経済 Economy and Industry in Japan	宮下 篤志 (Miyashita, Atsushi) 山辺 真理子 (Yamabe, Mariko)	2

〈日課表 Schedule〉

学期 Semester	曜日 Day Of Week	時限 Period	科目コード Course Code	科目名 Course Title	担当者 Instructor	教室 Classroom
春学期 Spring	火 Tue	2時限 2 nd (10:45–12:15)	OA894	日本の法制度と規制 Legal System and Regulation in Japan	山中 (Yamanaka) 池田 (Ikeda)	4341
秋学期 Fall	水 Wed	2時限 2 nd (10:45–12:15)	OA892	日本の産業と経済 Economy and Industry in Japan	宮下 (Miyashita) 山辺 (Yamabe)	X306

科目名	日本の産業と経済 (Economy and Industry in Japan)		
担当者	宮下 篤志 (Miyashita, Atsushi) 山辺 真理子 (Yamabe, Mariko)		
開講学期	秋学期	単位数	2 単位

授業の目標

日本の産業発展史および日本経済の状況をトピックに取り上げ、それぞれについて知ると同時に、それらのトピックを語る際に使われる語彙や文型について学び、自らがそれらを理解するのみでなく、使えるような課題を行う。

授業の内容

「日本の産業発展史」および「日本経済を取り巻く状況」の講義を軸として進める。講義は、担当教員の他、ゲストスピーカーを招く。講義の前には事前学習として、それぞれのトピックについて基本的知識や専門的な語彙や文型を学び、講義の後には、内容理解やディスカッション、レポート作成などを実施する。事前学習、ゲストスピーカーによる講義、事後学習という流れの中で学ぶことが重要であるため、自律的な認識を持って授業に参加できる者の履修を望む。

授業計画

1. 授業の説明
2. 「日本の産業発展史Ⅰ」事前学習 1
3. 「日本の産業発展史Ⅰ」事前学習 2
4. セッション① 「日本の産業発展史Ⅰ」について
5. 「日本の産業発展史Ⅰ」事後学習 1
6. 「日本の産業発展史Ⅰ」事後学習 2
7. 「日本の産業発展史Ⅱ」事前学習
8. セッション② 「日本の産業発展史Ⅱ」について
9. 「日本の産業発展史Ⅱ」事後学習 1
10. 「日本の産業発展史Ⅱ」事後学習 2

11. 「日本経済を取り巻く状況」事前学習
12. セッション③ 「日本経済を取り巻く状況」について
13. 「日本経済を取り巻く状況」事後学習 1
14. 「日本経済を取り巻く状況」事後学習 2

授業時間外(予習・復習等)の学習

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

各トピックのレポート(15%×3=45%)、各宿題(25%)、出席および授業への参加度(30%)

テキスト

指定しない。

参考文献

適宜授業で紹介する。

その他(HP など)

「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてが J6, J7, J8 のいずれかの学生を対象とする。

科目名	日本の法制度と規制 (Legal System and Regulation in Japan)		
担当者	山中 伸彦 (Yamanaka, Nobuhiko) 池田 伸子 (Ikeda, Nobuko)		
開講学期	春学期	単位数	2 単位

授業の目標

日本の法制度や規制について、特にビジネスや職業、労働に関連したトピックを取り上げ、それらに関する基本的な専門知識を修得することを目指す。

授業の内容

「日本の司法制度」「日本の商取引と商法」「日本の雇用制度と労働法」をトピックとして取り上げ、それぞれについての基本的な知識を修得すると同時に、それらのトピックを語る際に使われる語彙や文型について学び、自らがそれらを理解することができるよう課題に取り組む。

授業計画

1. 授業ガイダンス
2. 「日本の司法制度」事前学習1
3. 「日本の司法制度」事前学習2
4. ゲストセッション① 「日本の司法制度」
5. 「日本の司法制度」事後学習1
6. 「日本の司法制度」事後学習2
7. 「日本の商取引と商法」事前学習
8. ゲストセッション② 「日本の商取引と商法」
9. 「日本の商取引と商法」事後学習1
10. 「日本の商取引と商法」事後学習2
11. 「日本の雇用制度と労働法」事前学習
12. ゲストセッション③ 「日本の雇用制度と労働法」
13. 「日本の雇用制度と労働法」事後学習1
14. 「日本の雇用制度と労働法」事後学習2

授業時間外(予習・復習等)の学習

必要な準備学習については毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 30%, 宿題 25%, 小レポート 3回 45%

テキスト

指定しないが、必要なものを適宜配布する。

参考文献

授業で適宜紹介する。

その他(HP など)

ゲストとの調整により、扱うテーマの順番が変わる可能性がある。